

会 議 録

会議名	第18回 東松山市地域公共交通会議					
開催日時	令和元年7月25日(木)			開会	午後1時30分	
				閉会	午後3時20分	
開催場所	東松山市役所 3階 全員協議会室					
会議次第	1 開 会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 議 題 ・市内公共交通について ・デマンドタクシーについて ・市内循環バスについて 5 その他 6 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		1人	
非公開の理由 (非公開の場合)	/					
委員出欠状況	会長	高田 和幸	出席	副会長	加藤 貴文	出席
	委員	宮田 和弘	出席	委員	大山 博	出席
	委員	小熊 和久	欠席	委員	齋藤 隆行	出席
	委員	仲條 靖子	出席	委員	杉本 智之	出席
	委員	高原 昭	欠席	委員	鶴岡 洋	代理(金川)
	委員	青木 宏之	欠席	委員	森村 正寿	欠席
	委員	木暮 尚巳	代理(佐藤)	委員	島村 章	出席
	委員	五嶋 善明	出席	委員	大久保 勝子	出席
				委員	贄田 美行	出席
事務局	市民生活部 部長	齋藤 浩	出席	市民生活部 次長	田島 裕之	出席
	地域支援課 課長	今井 達雄	出席	地域支援課 室長	竹間 信行	出席
	地域支援課 主任	野中 勇太	出席	地域支援課 主任	富永 真司	出席

1 開 会	地域支援課 今井課長
2 委嘱状交付	<p>贄田副市長より委嘱状交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東武鉄道株式会社 東松山駅長 宮田 和弘 氏 ○川越観光自動車株式会社 森林公園営業所長 大山 博 氏 ○東松山県土整備事務所 管理担当課長 島村 章 氏
3 あいさつ	高田会長
4 議 題	<p>(事務局)</p> <p>本日ご都合により、代理出席されている方々を紹介させていただきます。 資料1の委員名簿をご覧いただきたいと思います。</p> <p>鶴岡委員様の代理の金川様 木暮委員様の代理の佐藤様</p> <p>でございます。</p> <p>また、本日ご都合により欠席されている委員様は、</p> <p>高原委員様、森村委員様、青木委員様 でございます。</p> <p>(事務局)</p> <p>次に、配付資料の確認をさせていただきます。「次第」の次に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「第18回 東松山市地域公共交通会議資料」 ○「第17回 東松山市地域公共交通会議録」 ○「資料2 補足資料」 <p>でございます。</p> <p>配付漏れ等ございましたら、お申し出いただければと思います。</p> <p>(事務局)</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。会議の議長は、要綱第4条の規定によりまして、会長がその任にあたることになっておりますので、高田会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>

(議長)

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。
最初に、会議録の署名委員を2名指名させていただきます。
仲條委員さんと、大久保委員さんをお願いしたいと思います。

会議録は、後日、調製のうえ、お持ちしますので、ご確認の署名をお願いします。

次に、この会議は原則公開となっておりますが、傍聴の申し込みはありますか。

(事務局)

傍聴の申込は、1名でございます。

(事務局)

傍聴を許可することにご異議ありませんか。

(委員)

異議なし。

(議長)

それでは、傍聴の許可をいたします。事務局は、申込みをいただいた方を入室させてください。

それでは、これより議事に入らせていただきます。次第でございますように、議題が3件となっております。

はじめに、「市内公共交通について」、事務局よりお願いいたします。

(1) 市内公共交通について

(事務局)

資料2にもとづき説明した。

その後、集計及び分析を担当した東京電機大学高田研究室から資料2-2にもとづき説明した。

(資料2-2説明要旨)

【2ページ】

回答者の個人属性は60歳以上が8割くらいで、性別は女性が多く全体

の3分の2程度を占める。

【3ページ】

デマンドタクシー利用頻度は登録しても利用していない方が30%くらい存在し、利用している乗車区間は「自宅と病院」が約半数でその後「自宅と駅」、「自宅と商業施設」と続く。デマンドタクシーを利用する前の移動手段は「家族による送迎」と「自家用車」で約半分を占め、その後「タクシー」「自転車」「路線バス」と続く。

【4ページ】

今回は比較的多く利用（月1回以上）している方とそうで無い方を比較した。比較的多く利用している方とそうでない方ではライフスタイルの変化に違いがある。利用が多い方が「免許返納を考えるようになった」「家族による送迎回数が減った」と選択した割合が多いことは33ページの結果ともリンクする。

【5～7ページ】

ここでは選択実験というものを行った。ケースごとにサービスの内容が少しずつ異なる選択肢を用意した。

図①に示すように、利用者の負担割合は現状では不連続なものになっている。図②はタクシーメータの料金に寄らず負担割合は一定に公平性を重視したもの。図③は走行距離が伸びるごとに負担割合が下がるという遠距離移動の方に配慮したもの。

今回は5ページ上段のケース1について分析を行った。サービス1は現状のままという選択肢なので、1位にした人が多いのは想定内の結果となる。男女で見た場合は女性の方が若干現状維持の傾向が強い、年代で見た場合は比較的若い人の方が現状維持の傾向が強い、利用頻度は明確な相関はなし、負担割合も明確な相関はなしという結果となった。

【8～10ページ】

アンケートを実施する際、回答者がみんな同じような考え方をしていれば1種類の分析でいいが、コスト意識の高い方、事業継続性を重視する人と様々な考え方の人がいる。

潜在クラスロジットモデルは自動的に何個のグループに分けて考えるのがよいかを出す方法で今回はセグメント1とセグメント2の2グループに分けて分析するのがよいとの結果が出た。

セグメント1は事業継続についてはあまり気にされていない方、セグメント2は事業が継続するほど満足度が高い方となる。料金の値上がりについては1も2も同じ程度の抵抗感を持っている。

セグメント2の事業継続を望む方は公平型、長距離配慮型のサービス2、

3、4の数字がプラスなのでそちらを望んでいる人が多い。

セグメント構成比をみるとおおよそ3割の人は事業を継続するためならば、料金を見直してもいいと考えている。7割の人は事業の継続性はあまり気にしてないとの結果が出た。

セグメント2の人は1回乗車あたり32.08円くらい上がってもよいと考えている。セグメント1の人は、事業継続性は下がっても構わないので料金が下がる方がよいと考えているとの結果が出た。

【主な意見等】

(議長)

説明が終わりました。ご質問やご意見はありますか。

(議長)

前回示した資料はデータが多すぎてわかりづらい部分があったので、今回の資料は実施したアンケートの中からデマンドタクシーの料金を見直すにあたって参考となる項目に絞って作成した。

今回の結果では、回答者全員ではないが3割程度の方は料金を見直してもよいと思っているという結果が出ている。

(議長)

無いようであれば、関連がありますので引き続き議題2「デマンドタクシーについて」事務局から説明をお願いします。

(2) デマンドタクシーについて

(議長)

続きまして、「デマンドタクシーについて」、事務局よりお願いいたします。

(事務局)

資料3にもとづき、事務局から説明した。

(議長)

説明が終わりました。ご質問やご意見はありますか。

(佐藤委員代理)

免許返納割引、障害者割引のそれぞれ5%というのは利用件数に対するものか。

(事務局)

利用件数に対する割合となる。障害者は手帳、免許返納は経歴証明書を提示することでデマンドタクシー料金から1割引となる。

(佐藤委員代理)

必ず提示か。

(事務局)

必ず提示することが条件となっている。

(贅田委員)

タクシー事業者にお聞きしたいが、デマンドタクシーの料金体系を定率にした場合と定額のまま細分化した場合の手間はどうか。

(齋藤委員)

定率、例えば半額補助の場合だと、5円や1円単位の端数が出ると困るので定額の方がわかりやすくいいと思う。

(議長)

およそ半額ということで端数が出ないように設定すれば可能か。

(齋藤委員)

デマンドタクシー料金を半額に近いところで設定するにしても、細分化して10段階とかになってしまうと混乱すると思う。通常のタクシー利用では、メーター料金をそのままもらうが、デマンドタクシーは計算が生じる。路上に停車し、利用者が降車するまでの短い時間でやるには手間がかかる。

現場からするとドライバー負担を減らして手間の少ない方法を検討いただきたい。

これは提案だが、資料4ページを見るとメーター料金1,000円から1,999円でデマンドタクシー料金500円の価格帯の利用者割合が約90%なのでこの価格帯にひと手間加えるだけでかなり変わるはず。4段階くらいでまとめていただけると現場としては助かる。

(仲條委員)

消費増税にかかる料金改正でタクシー運賃は100円単位になる予定なので現行の料金体系ほど計算は難しくはならない。

(齋藤委員)

10月に料金体系の改定が予定されている。

改定後は資料6ページ参考資料②のメーター料金1,500円~1,999円の価格帯の利用分30.5%が、その上のメーター料金2,000円以上の価格帯に入ってくると思う。その場合、東松山市の補助額も変わってくると思う。

(議 長)

特定の価格帯のみ料金を上げるよりも、利用者の負担割合を平準化するという意味ではメーター料金の半額補助の方が説明はしやすい。

(贅田委員)

皆さんからいろいろご意見いただいて、段階制にするならなるべく負担割合の公平性を保って段階を設定してほしい。

(議 長)

事務局に伺いたいですが、今回の会議では、料金体系の見直しについてどの程度決めればよいのか。

(事務局)

可能ならば、具体的な料金案を絞り込みたいと考えている。

(議 長)

ポイントは2つ考えられる。1つは「利用者の負担割合の差」、もう1つは「予算の増大」この部分を解消しつつ、公平性を市民に示していかなくてはならない。

(事務局)

ご意見を踏まえ、案①の半額補助もしくは案②の段階制の方向で研究して継続審議とさせていただきたい。割引の方法も、現在はデマンドタクシー料金から1割引だが、端数の問題等考慮し、定額で割引くという方法も

ある。

(議 長)

それでは案①と案②を元に詳細な検討をするということでお願いします。

(議 長)

その他ありますか。

無いようなのであれば、議題2については以上で終了します。

(3) 市内循環バスについて

(議 長)

続きまして、議題3「市内循環バスについて」、事務局よりお願いいたします。

(事務局)

資料4にもとづき、事務局から説明した。

(贅田委員)

結節点の大岡市民活動センターと唐子市民活動センターの利用状況はどうか。

(事務局)

一定の利用はあるが、結節点として機能しうるほどの利用には至っていない。

(贅田委員)

今後の結節点としての役割や機能の見直しも考える必要もあるか。

(事務局)

待合環境の向上含め、結節点の機能を高めるような対策対応を考えたい。

(議 長)

市内循環バスだけではなく、民間路線バスの部分も含めた市全体の交通網形成を考えてもらいたい。

(事務局)

市内循環バスとデマンドタクシー2つの交通モードを利用して駅に向かう人は少ない。市内循環バスを使って、市民活動センターや健康増進センターを利用している人は一定数いる。

(議長)

公共交通の使い方などは市民への普及啓発をどんどんして欲しい。

(大久保委員)

昨年だと思うが、高坂丘陵地区のバスが減便になってしまったが理由はあるか。

(議長)

前回の地域公共交通会議ではドライバー不足という説明だった。

(大久保委員)

桜山小学校と白山中学校は特任校制度で他学区からも生徒が通っているが、減便の影響もあり、通学にバスが使えないという声が出ている。

デマンドタクシーも時間帯や年齢的に使えない。

(大山委員)

高坂丘陵地区は少子高齢化が進んでおり、毎年利用者が減っているのではやむをえず昨年の4月に減便となった。バス停を減らすのではなく、路線ルートを若干変えている。

通勤通学時間帯は桜山小学校を通らずに急行ルートという形で東京電機大学に直接行っているため、少し離れたバス停で降りて歩いていただいているという現状はある。

(大久保委員)

遠くのバス停で降りて、子どもが一人で歩かなくてはいけない。

(贄田委員)

特任校に関しては、教育委員会の話だと通学は全て親の責任で行っていただくという取り決めでお願いしている。

(大久保委員)

親の責任で送り迎えしているが、どうしても出来ないこともあり、その場合は学校を休まざるを得ない。そのためにも交通手段があってほしい。

(加藤委員)

デマンドタクシーは登録の状況、アンケートの結果を見ても高齢の方の利用が多い。先ほど公平性という言葉があったが、若い世代が使えない時間帯にしかデマンドタクシーがない。そのあたりはどう考えているか。

(事務局)

民間路線バスへの影響を考慮し、通学・通勤の時間帯は省いて運行している。日常の通院や買い物に使うことを主目的としているので、通勤通学は対象としていない。高齢者の利用は多いが、そもそも小中学生がタクシーで通学することは想定していない。

(加藤委員)

そのような目的にもとづいた運行であればそれはそれでよいが、若い世代に使いづらいという部分が「公平性」と言う部分で疑問があったので質問させていただいた。

経営上の理由で減便になったというのであれば、民間路線バスへの補助なども検討の余地はあるのか。

(事務局)

現在では補助は考えていない。

(加藤委員)

バス会社は補助があれば、運行本数を増やす余地があるのか。

(大山委員)

検討出来るところもあると思うが、減便は主に人手の観点から本数を減らすのが目的なので、現状では難しい。

(議長)

その他ございますか。

無ければ以上で議題3を終了します。

<p>5 その他</p>	<p>(議 長)</p> <p>続きまして、その他に移ります。事務局から何かございますか。</p> <p>(事務局)</p> <p>次回の地域公共交通会議の開催日程について、次回は11月下旬から12月頃を予定として、改めて調整させていただく旨を説明。</p> <p>(議 長)</p> <p>それでは、本日予定された議事につきましては、滞りなく終了いたしました。皆様のご協力に感謝を申し上げ、議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>6 閉 会</p>	<p>市民生活部 斎藤部長</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和元年9月10日</p> <p>署名委員 <u>仲條 靖子</u></p> <p>署名委員 <u>大久保 勝子</u></p>	